

三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド (為替ヘッジあり)

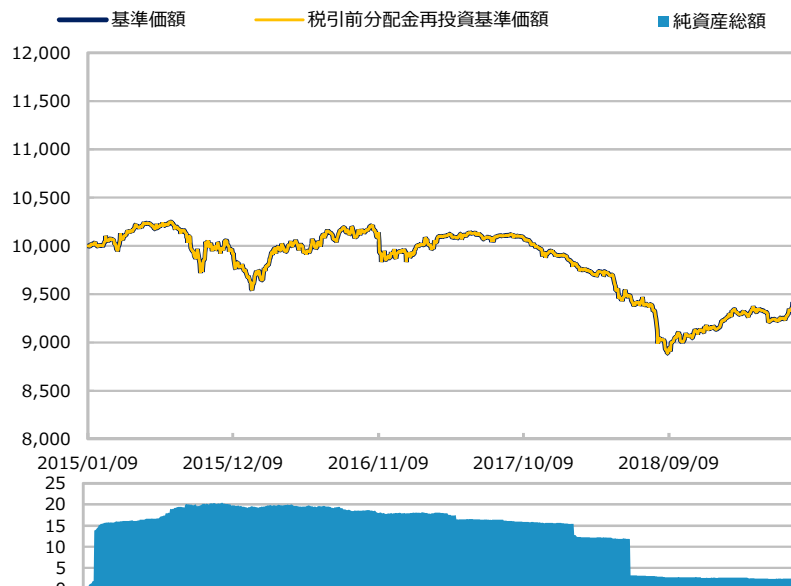
【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2019年06月28日

ファンド設定日：2015年01月13日

日経新聞掲載名：新興債TR有

基準価額・純資産総額の推移 (円・億円)



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額 (円)	9,391	+141
純資産総額 (百万円)	250	+4

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率 (税引前分配金再投資) (%)

	基準日	ファンド
1 カ月	2019/05/31	1.5
3 カ月	2019/03/29	0.8
6 カ月	2018/12/28	2.8
1 年	2018/06/29	-0.1
3 年	2016/06/30	-6.9
設定来	2015/01/13	-6.1

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績 (税引前) (円)

期	決算日	分配金
第4期	2017/01/10	0
第5期	2017/07/10	0
第6期	2018/01/10	0
第7期	2018/07/10	0
第8期	2019/01/10	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
組入投資信託	93.2	-0.2
マネー・ファンド	0.1	-0.0
現金等	6.7	+0.2
合計	100.0	0.0
為替ヘッジ比率	98.9	-0.6

- ※ 組入投資信託の正式名称は「HSBCグローバル・インベストメント・ファンズ - GEMデット・トータル・リターン (クラスS4C)」です。
- ※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・ブルー・マザー・ファンド」です。
- ※ 為替ヘッジ比率は為替予約の邦貨換算を外貨建資産の邦貨換算額で除して算出しています。

基準価額の変動要因 (円)

	寄与額
組入投資信託	+165
為替	-17
分配金	0
その他	-7
合計	+141

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

※ この資料の各グラフ・表に記載されている数値は、表示桁未満がある場合は四捨五入して表示しています。

※ この資料に記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全てファンドの純資産総額を100%として計算した値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2019年06月28日

ファンド設定日：2015年01月13日

日経新聞掲載名：新興債TR無

基準価額・純資産総額の推移 (円・億円)



- グラフは過去の実績を示したものであり将来の成果をお約束するものではありません。
- 基準価額は信託報酬控除後です。信託報酬は後述の「ファンドの費用」をご覧ください。

基準価額・純資産総額

	当月末	前月比
基準価額 (円)	9,380	+33
純資産総額 (百万円)	1,143	-1

■ 基準価額は10,000口当たりの金額です。

騰落率 (税引前分配金再投資) (%)

	基準日	ファンド
1 カ月	2019/05/31	0.4
3 カ月	2019/03/29	-1.3
6 カ月	2018/12/28	1.4
1 年	2018/06/29	0.1
3 年	2016/06/30	3.7
設定来	2015/01/13	-6.2

- ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。
- ファンド購入時には購入時手数料、換金時には税金等の費用がかかる場合があります。
- 騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

最近の分配実績 (税引前) (円)

期	決算日	分配金
第4期	2017/01/10	0
第5期	2017/07/10	0
第6期	2018/01/10	0
第7期	2018/07/10	0
第8期	2019/01/10	0
設定来累計		0

※ 分配金は10,000口当たりの金額です。過去の実績を示したものであり、将来の分配をお約束するものではありません。

資産構成比率 (%)

	当月末	前月比
組入投資信託	94.4	+0.8
マネー・ファンド	0.1	+0.0
現金等	5.5	-0.8
合計	100.0	0.0

※ 組入投資信託の正式名称は「HSBCグローバル・インベストメント・ファンズ - GEMデット・トータル・リターン (クラス4C)」です。

※ マネー・ファンドの正式名称は「マネー・プール・マザー・ファンド」です。

基準価額の変動要因 (円)

	寄与額
組入投資信託	+167
為替	-127
分配金	0
その他	-7
合計	+33

※ 基準価額の月間変動額を主な要因に分解したもので概算値です。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友DSアセットマネジメント

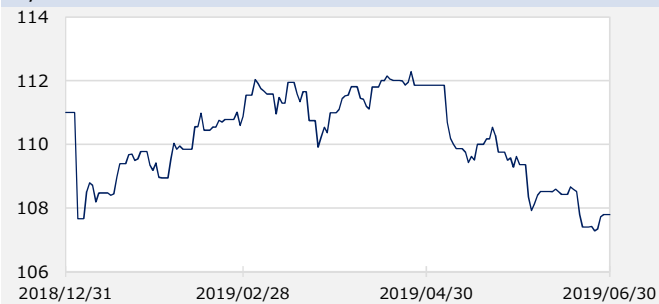
三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 海外 / 債券

作成基準日：2019年06月28日

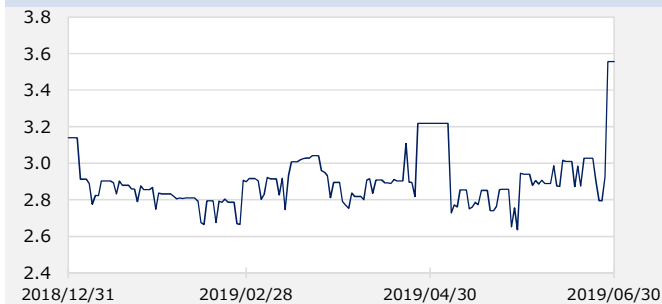
市場動向

円/アメリカドル (円)



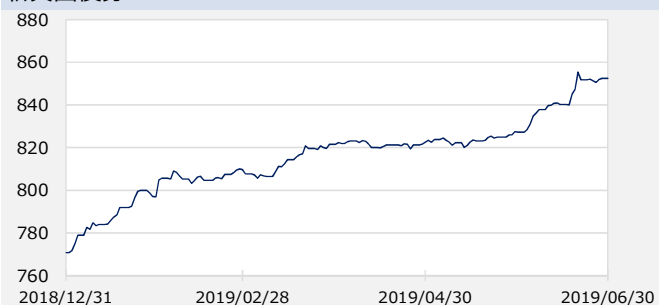
当月末：107.8 前月末：109.4 騰落率：-1.4%

アメリカドル ヘッジコスト (%)



当月末：3.56% 前月末：2.94% 変化幅：0.62%

新興国債券



当月騰落率：3.0%

- ※ DataStream等のデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成。
- ※ 為替レートは一般社団法人 投資信託協会が発表する仲値 (TTM) です。
- ※ ヘッジコストは該当通貨の対円のスポットレートと1か月物フォワードレートを用いて算出し年率換算した値です。
- ※ 新興国債券はJPモルガンEMBIグローバルトータルリターンインデックス (アメリカドルベース) です。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



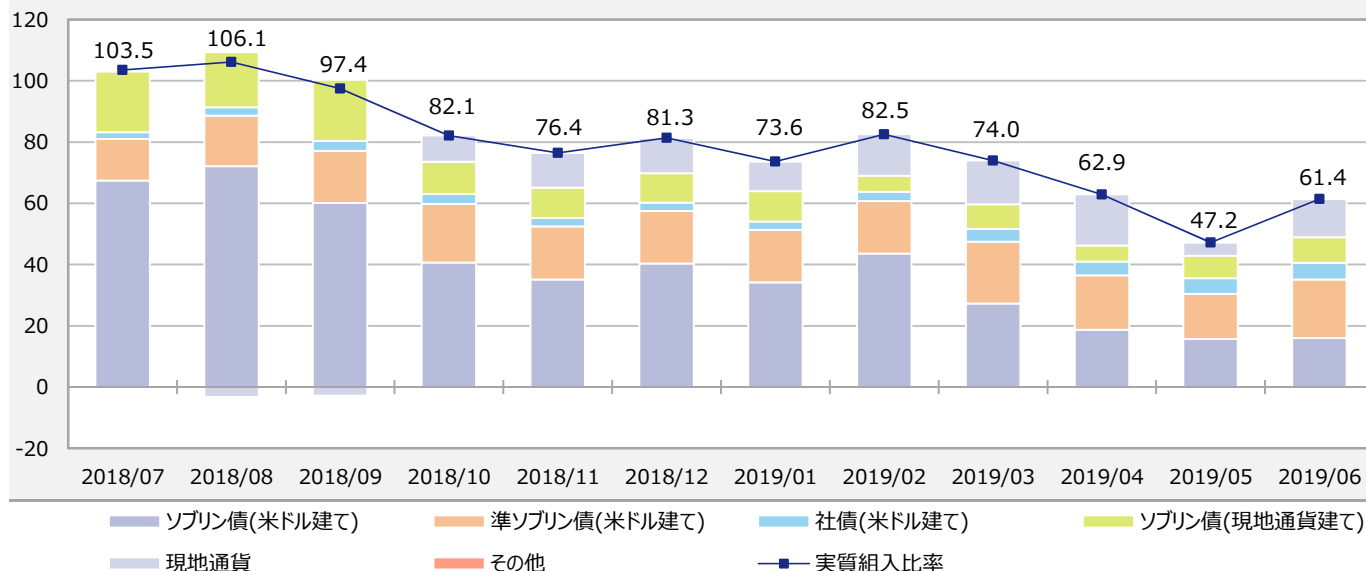
三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 海外 / 債券

作成基準日：2019年06月28日

※ このページは「HSBCグローバル・インベストメント・ファンズ - GEMデット・トータル・リターン (クラスS4C)」について、HSBCグローバル・アセット・マネジメント (米国) インクから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

セクター別実質組入比率の12カ月推移 (%)



ポートフォリオ特性値

	当月末	前月比
クーポン (%)	7.3	+1.0
直接利回り (%)	4.6	+0.3
最終利回り (%)	5.8	-0.5
デュレーション (年)	3.0	+0.2
残存年数 (年)	5.6	+0.3
平均格付け	BBB+	A-
実質組入比率	61.4	+14.2

セクター別実質組入比率 (%)

	当月末	前月比
ソプリ債 (アメリカドル建て)	16.0	+0.2
準ソプリ債 (アメリカドル建て)	19.2	+4.5
社債 (アメリカドル建て)	5.4	+0.3
ソプリ債 (現地通貨建て)	8.3	+1.0
現地通貨	12.5	+8.2
その他	0.0	0.0
合計	61.4	+14.2

※ 各組入銘柄の数値を加重平均した値です。

※ 格付けは主要格付機関の格付けを参考にして三井住友DSアセットマネジメントが分類した投資債券に対する格付けに基づいており、ファンドにかかる格付けではありません。また、現金はAAAとみなして算出しています。

※ 上記は将来の運用成果をお約束するものではありません。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入投資信託の債券およびデリバティブ等の評価額を100%として計算した値です。
 ※ 実質組入比率は、債券および現地通貨等の買建てから売建てを控除した計算上の組入比率です。現金および現金の代替として保有している債券等は反映していません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 海外 / 債券

作成基準日：2019年06月28日

※ このページは「HSBCグローバル・インベストメント・ファンズ - GEMデット・トータル・リターン (クラスS4C)」について、HSBCグローバル・アセット・マネジメント (米国) インクから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

国・地域実質構成比率 (%)

国・地域	債券等			為替取引等	合計	
	小計	米ドル建て等	現地通貨建て			
インドネシア	12.2	8.5	3.7	-0.5	11.6	11.6
インド	4.3	4.3	0.0	3.6	7.9	7.9
アルゼンチン	4.1	4.1	0.0	2.5	6.6	6.6
マレーシア	1.7	1.7	0.0	3.5	5.2	5.2
ポーランド	0.1	0.1	0.0	5.0	5.1	5.1
中国	4.8	4.8	0.0	0.0	4.8	4.8
チリ	3.7	3.7	0.0	0.0	3.6	3.6
クロアチア	3.6	3.6	0.0	0.0	3.6	3.6
ドミニカ	3.4	3.4	0.0	0.0	3.4	3.4
スリランカ	2.6	2.6	0.0	0.0	2.6	2.6
メキシコ	-0.4	-1.5	1.1	3.0	2.6	2.6
パナマ	2.6	2.6	0.0	0.0	2.6	2.6
南アフリカ	4.8	2.5	2.3	-2.3	2.5	2.5
サウジアラビア	2.3	2.3	0.0	0.0	2.3	2.3
ガーナ	1.8	1.8	0.0	0.0	1.8	1.8
イスラエル	-0.1	-0.1	0.0	-3.5	-3.6	-3.6
タイ	-0.1	-0.1	0.0	-3.6	-3.6	-3.6
韓国	-14.1	-14.1	0.0	0.0	-14.1	-14.1
その他	11.6	10.3	1.2	5.0	16.5	16.5
合計	48.9	40.5	8.3	12.5	61.4	

※ 為替取引とは、通貨を買建てあるいは売建て等とすることで為替ポジションの持ち高を調整する取引を指します。

組入上位10銘柄

(組入銘柄数 92)

銘柄	通貨	国・地域	種別	クーポン (%)	残存年数 (年)	格付け	比率 (%)
1 南アフリカ国債	アメリカドル	南アフリカ	国債	5.500	0.7	BBB-	5.7
2 インドネシア国債	アメリカドル	インドネシア	国債	5.875	0.7	BBB	5.2
3 インドネシア国債	アメリカドル	インドネシア	国債	4.875	1.9	BBB	3.2
4 コロンビア国債	アメリカドル	コロンビア	国債	4.000	4.7	BBB	2.5
5 アルゼンチン国債	アメリカドル	アルゼンチン	国債	4.625	3.5	B	2.4
6 ドミニカ共和国国債	アメリカドル	ドミニカ共和国	国債	7.500	1.9	BB-	2.4
7 クロアチア国債	アメリカドル	クロアチア	国債	6.625	1.0	BBB-	2.4
8 トルコ国債	アメリカドル	トルコ	国債	7.500	0.4	BB	2.3
9 コロンビア国債	アメリカドル	コロンビア	国債	2.625	3.7	BBB	2.3
10 インドネシア国債	インドネシアルピア	インドネシア	国債	6.125	8.9	BBB	2.3

※ キャッシュポジションの代替として保有している債券およびデリバティブ等を除外しています。

※ 格付けは主要格付機関の格付けを参考にして三井住友DSアセットマネジメントが分類した投資債券に対する格付けに基づいています。

※ このページに記載されている構成比を示す比率は、注記がある場合を除き全て組入投資信託の債券およびデリバティブ等の評価額を100%として計算した値です。

※ 実質組入比率は、債券および現地通貨等の買建てから売建てを控除した計算上の組入比率です。現金および現金の代替として保有している債券等は反映していません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用



三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2019年06月28日

※ このページは「HSBCグローバル・インベストメント・ファンズ - GEMデット・トータル・リターン (クラスS4C)」について、HSBCグローバル・アセット・マネジメント (米国) インクから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

<市場動向>

6月の新興国市場は、先進主要国の金利低下を背景に投資家のリスク選好度が高まったことから、堅調な展開となりました。

FRB (米連邦準備制度理事会) は、世界経済の成長鈍化や貿易摩擦拡大による景気の下方リスクの増大を懸念し、6月のFOMC (米連邦公開市場委員会) で政策金利の据え置きが発表されました。米10年国債利回りが月中2.12%から2.00%まで低下するなど、先進国市場の金利低下は現地通貨建債券にも追い風となり、現地通貨建債券インデックス (JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド) の利回りは6.0%から5.7%に低下しました。

月末のG20 (主要20カ国・地域) 首脳会合での米中首脳会談において、米中貿易協議の再開が約束されたことも投資家心理の好転につながりました。

投資家心理の改善、新興国債券市場への資金流入を受け、外貨建債券のスプレッド (米国債に対する上乗せ金利) は縮小しました。現地通貨建債券は、米ドル安やアルゼンチン資産の反発などを受け堅調に推移しました。

<運用経過>

リスク・オン (リスク選好) 環境の中で、新興国債券は外貨建て、現地通貨建てともに大きく上昇しました。外貨建資産では、マクリ大統領が10月下旬に行われる次期大統領選挙でピチェット上院議員を副大統領候補に決定したことが好感されたアルゼンチンが、プラスに貢献しました。また、ナイジェリア、ガーナ、エジプトなどが、FRBの緩和姿勢の拡大や米中貿易摩擦懸念の緩和などを背景とした投資リスクの低下を受け、上昇しました。現地通貨建資産では、アルゼンチンペソ、コロンビアペソのロングポジションがパフォーマンスにプラスに寄与しました。一方、新興国通貨の回復を受け、台湾ドル、タイバーツ、チリペソなどの通貨ヘッジのショートポジションがマイナス寄与となりました。

当戦略では、米中貿易摩擦への懸念の緩和をうけ、中国貿易に対するエクスポージャーが高いと考え保有していたチリペソや台湾ドルなどの通貨ヘッジポジションを、月中に解消しました。また、ハンガリーフォントのロング、チェコクローナのショートポジションを解消しました。これらの取引の結果、現地通貨建資産のエクスポージャーが引き上げられました。魅力的なバリュエーション (価格評価) となっている中国国有企業やルーマニア債券に選別投資を行ったことで、外貨建債券のデュレーション (投資資金の平均回収期間) を長期化し、同時に取得するクレジットリスクを引き上げました。

<今後の運用方針>

世界経済の成長は緩やかなものに転じており、貿易戦争に対する懸念も拡大しているものの、HSBCグローバル・アセット・マネジメントでは、FRBのハト派 (景気を重視する立場) 的な姿勢、中国による景気刺激策の発

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信／海外／債券

作成基準日：2019年06月28日

※ このページは「HSBCグローバル・インベストメント・ファンズ - GEMデット・トータル・リターン (クラスS4C)」について、HSBCグローバル・アセット・マネジメント (米国) インクから提供を受けたデータおよび情報を基に記載しています。

ファンドマネージャーコメント

動が、新興国資産を含めリスク資産にとって追い風と考えます。

外貨建新興国債券については、ポジティブな見通しを持っており、特にハイ・イールドセクターから魅力的な銘柄選択をしていきます。現地通貨建新興国債券については、高い実質金利水準を背景に魅力的な資産と考えています。引き続き銘柄選択に注力し、実質金利が高く、長短金利差の大きな国の債券を選好していきます。主要な新興国の中央銀行は、米国金融当局の動きと同時でないしは先行して利上げに踏み切っていることから、新興国債券は利回り面での優位性が高まっていると考えています。

ただし、全般的には良好な市場環境ではあるものの、貿易摩擦解決への道程、アルゼンチンの大統領選挙の行方などは慎重に見る必要があり、各国固有のリスクや中東地域における地政学リスクに伴い今後も変動が大きくなる局面があると考えられます。

※ 作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等をお約束するものではありません。

最終ページの「当資料のご利用にあたっての注意事項」を必ずご覧ください。

■ 設定・運用

 三井住友DSアセットマネジメント

三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 海外 / 債券

作成基準日：2019年06月28日

ファンドの特色

- 主として、新興国を中心とする世界各国の債券に投資するとともに、デリバティブ取引を活用することにより、価格下落リスクを限定しつつ、トータルリターンの獲得を目指します。
 - 主に、新興国を中心とする米ドル建ておよび現地通貨建ての債券（国債、政府機関債、国際機関債、社債等）ならびに通貨等に投資を行い、各資産への配分比率を機動的に変更します。
 - ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行います。
- 実質的な運用は、トータルリターン運用に強みを持つ「HSBCグローバル・アセット・マネジメント（米国）インク」が行います。
- 対円での為替ヘッジの有無により、2つのファンドからご選択いただけます（*）。また、販売会社によっては、（為替ヘッジあり）および（為替ヘッジなし）の間でスイッチングを取り扱う場合があります。
 - （為替ヘッジあり）は、米ドル建ての組入れ外国投資信託については、原則として対円での為替ヘッジを行います。なお、外国投資信託が保有する米ドル建て以外の資産については、米ドルに対する当該通貨の為替変動の影響を受けます。
 - （為替ヘッジなし）は、組入れ外国投資信託については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
 *販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 年2回（原則として毎年1月および7月の10日、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、決算毎に配分方針に基づき分配金額を決定します。
 - 分配金額は配分方針に基づき委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

※ 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

基準価額の変動要因

ファンドは、投資信託を組み入れることにより運用を行います。ファンドが組み入れる投資信託は、主として海外の債券を投資対象としており、その価格は、保有する債券の値動き、当該発行者の経営・財務状況の変化、為替相場の変動等の影響により上下します。ファンドが組み入れる投資信託の価格の変動により、ファンドの基準価額も上下します。**基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込む**ことがあります。

運用の結果としてファンドに生じた**利益および損失は、すべて受益者に帰属**します。したがって、ファンドは**預貯金とは異なり、投資元本が保証されているものではなく**、一定の投資成果を保証するものでもありません。ファンドの主要なリスクは、以下の通りです。

■ 債券市場リスク

内外の政治、経済、社会情勢等の影響により債券相場が下落（金利が上昇）した場合、ファンドの基準価額が下落する要因となります。また、ファンドが保有する個々の債券については、下記「信用リスク」を負うことにもなります。

■ 信用リスク

ファンドが投資している有価証券や金融商品に債務不履行が発生あるいは懸念される場合に、当該有価証券や金融商品の価格が下がったり、投資資金を回収できなくなったりすることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

■ 派生商品リスク

各種派生商品（先物取引、オプション取引、各種スワップ取引等）の活用は、当該派生商品価格が、その基礎となる資産、利率、指数等の変動以上の値動きをすることがあるため、ファンドの基準価額が大きく下落する要因ともなります。

三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 海外 / 債券

作成基準日：2019年06月28日

投資リスク

■ 為替変動リスク

外貨建資産への投資は、円建資産に投資する場合の通常のリスクのほかに、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落（円高）する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動（円高）は、ファンドの基準価額が下落する要因となります。

（為替ヘッジあり）は、米ドル建ての外国投資信託に投資し、米ドルについて対円で為替ヘッジを行いますが、当該外国投資信託において米ドル建て以外の資産を保有する場合、米ドルに対する当該通貨の為替変動の影響を受けます。

■ カントリーリスク

海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。

■ 市場流動性リスク

ファンドの資金流出入に伴い、有価証券等を大量に売買しなければならない場合、あるいは市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、必要な取引ができなかったり、通常よりも不利な価格での取引を余儀なくされることがあります。これらはファンドの基準価額が下落する要因となります。

その他の留意点

〔分配金に関する留意事項〕

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- 投資資産の市場流動性が低下することにより投資資産の取引等が困難となった場合は、ファンドの換金申込みの受け付けを中止すること、および既に受け付けた換金申込みを取り消すことがあります。

三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 海外 / 債券

作成基準日：2019年06月28日

お申込みメモ

購入単位

販売会社または委託会社にお問い合わせください。

購入価額

購入申込受付日の翌営業日の基準価額となります。

ただし、累積投資契約に基づく分配金の再投資の場合は、各計算期末の基準価額となります。

購入代金

販売会社の指定の期日までに、指定の方法でお支払いください。

換金単位

販売会社または委託会社にお問い合わせください。

換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額となります。

換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して7営業日目以降にお支払いします。

信託期間

2015年1月13日から2025年1月10日まで

決算日

毎年1月および7月の10日（休業日の場合は翌営業日）

収益分配

決算日に、分配方針に基づき分配金額を決定します。委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

分配金受取りコース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、決算日から起算して5営業日目までにお支払いいたします。

分配金自動再投資コース：原則として、分配金は税金を差し引いた後、無手数料で再投資いたします。

※販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。

課税関係

課税上は株式投資信託として取り扱われます。

配当控除の適用はありません。

お申込不可日

ロンドン、ニューヨークの取引所もしくはルクセンブルグの銀行の休業日または米国の休日であるコロンブス・デー、ベテランズ・デー（振替休日を含みます。）のいずれかに当たる場合には、購入、換金の申込みを受け付けません。

スイッチング

販売会社によっては、（為替ヘッジあり）および（為替ヘッジなし）の間でスイッチングを取り扱う場合があります。また、販売会社によってはいずれか一方のみの取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 海外 / 債券

作成基準日：2019年06月28日

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料
購入価額に**3.24% (税抜き3.00%) を上限**として、販売会社がそれぞれ別に定める手数料率を乗じた額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 信託財産留保額
ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用（信託報酬）
ファンドの純資産総額に**年0.999% (税抜き0.925%)**の率を乗じた額です。
※投資対象とする投資信託の信託報酬等を含めた場合、**年1.999% (税抜き1.925%) 程度**となります。
- その他の費用・手数料
上記のほか、ファンドの監査費用や有価証券の売買時の手数料、資産を外国で保管する場合の費用等（それらにかかる消費税等相当額を含みます。）が信託財産から支払われます。これらの費用に関しましては、その時々取引内容等により金額が決定し、運用状況により変化するため、あらかじめ、その金額等を具体的に記載することはできません。
※ ファンドの費用（手数料等）の合計額、その上限額、計算方法等は、投資者の保有期間に応じて異なる等の理由により、あらかじめ具体的に記載することはできません。

税金

分配時

所得税及び地方税 配当所得として課税 普通分配金に対して20.315%

換金（解約）及び償還時

所得税及び地方税 譲渡所得として課税 換金（解約）時及び償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%

- ※ 個人投資者の源泉徴収時の税率であり、課税方法等により異なる場合があります。法人の場合は上記とは異なります。
- ※ 税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

委託会社・その他の関係法人等

委託会社	ファンドの運用の指図等を行います。 三井住友DSアセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第399号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人第二種金融商品取引業協会 ホームページ： https://www.smd-am.co.jp フリーダイヤル： 0120-88-2976 [受付時間] 午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）
受託会社	ファンドの財産の保管および管理等を行います。 三井住友信託銀行株式会社
販売会社	ファンドの募集の取扱い及び解約お申込の受付等を行います。

三井住友・新興国債券トータルリターン・ファンド (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

【投信協会商品分類】 追加型投信 / 海外 / 債券

作成基準日：2019年06月28日

販売会社

販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 金融商品取引業協会	日本投資顧問業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 投資信託協会	備考
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第44号	○	○		○		
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第165号	○		○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○		
株式会社三井住友銀行	登録金融機関 関東財務局長（登金）第54号	○	○		○		

当資料のご利用にあたっての注意事項

- 当資料は、三井住友DSアセットマネジメントが作成した販売用資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、将来に関し述べられた運用方針・市場見通しも変更されることがあります。当資料は三井住友DSアセットマネジメントが信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 投資信託は、値動きのある証券（外国証券には為替変動リスクもあります。）に投資しますので、リスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本や利回りが保証されているものではありません。
- 投資信託は、預貯金や保険契約と異なり、預金保険・貯金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また登録金融機関でご購入の場合、投資者保護基金の支払対象とはなりません。
- 当ファンドの取得のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡す最新の投資信託説明書（交付目論見書）および契約締結前交付書面等の内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等は販売会社にご請求ください。また、当資料に投資信託説明書（交付目論見書）と異なる内容が存在した場合は、最新の投資信託説明書（交付目論見書）が優先します。

■ 設定・運用

